

令和2年度 第1回南城市総合教育会議（議事録）

日時：令和2年5月20日（水） 14：00～

場所：南城市役所 3階 庁議防災室

参加者：南城市長 瑞慶覧 長敏

教育長 上原 廣子

教育委員 屋宜 哲司、糸数 洋、儀間 朝昭、西銘 宜正

首長部局 総務課長 與那嶺 幹、総務課係長 山城 敬

教育委員会 教育部長 上原 昇、教育総務課長 新垣 郷太、教育指導課長 城間 盛善、教育施設課長 親川 健治、生涯学習課長 嶺井 利宣、  
文化課長 泉 直人、統括指導主事 竹下 晴康

傍聴人：1人（南城市在住）

司 会)

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、総務課山城と申します。総合教育会議を始める前に市長及び教育長よりご挨拶をお願いします。まずは瑞慶覧市長よりお願いします。

市 長)

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大して、大変な時期になっております。落ち着きを取り戻しているとはいえ、まだ予断を許さない状況です。今後、注意を払いながら県とタイアップし、拡大防止に向けて頑張っていきたいと思っております。本日はそのような中で第1回総合教育会議に集まっていただきました。総合教育会議は、首長と教育委員会が教育行政の重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行う場であると位置づけられております。様々なことを想定しながら教育委員会と一緒に南城市の教育に向けて取り組んでいきたいと思っております。以上で私の挨拶と致します。

司 会)

市長ありがとうございます。続きまして、上原教育長より、ご挨拶をお願いします。

教育長)

皆さんこんにちは。令和2年度第1回の総合教育会議ではありますが、市内の小中学校は明日（5月21日）から始業式を向かえ、2か月遅れのスタートになります。感染防止対策等、子供たちの安全面、健康面に気をつかいながらの開校となります。総合教育会議は前年度（令

和元年度)の教育委員会の取り組みの報告、今年度(令和2年度)の教育施策の確認となります。まず第1の取り組むこととして、教育委員会は新型コロナウイルス感染症で休校期間中の2か月分の遅れに対し、どのようなケアを行わなければならないかということが一番の大きな柱と考えております。教育を止めることはあってはならないことでもあります。その他の事業におきましても細かく配慮しながら、学校や子どもたちのケアをすすめていくことが教育委員会の大きな事業と思っております。市長におかれましては教育委員会の事業にご理解いただきながらバックアップをよろしくお願い致します。

司 会)

教育長ありがとうございました。次第に沿って進めさせていただきます。南城市総合教育会議規則第4条第1項により、市長がその会議の議長となる。と規定されておりますので、議題進行は市長より、お願い致します。

議 長)

これより、令和2年度第1回南城市総合教育会議を開会致します。本日の日程はお手元にあります、式次第の日程のとおり進めて参ります。議題1、令和元年度重点施策の進捗状況について協議致します。教育委員会からの説明を求めます。

教育長)

令和元年度重点施策の事業について説明致します。教育総務課から2点あります。1点目は学校給食について、2点目は通園・通学バスの運行に対する変更であります。まず、学校給食の件ですが、給食費の徴収率は99.04と前年度(平成30年度)と比べるとかなり上回っていることを報告させていただきます。南城市学校給食センターで子供たちの給食の調理を委託しているのは、株式会社オーディフであります。給食に関しては特に大きな問題はなかったのですが、アレルギーや食中毒の防止、配膳室の清潔に関しては安全・安心を提供したと報告致しますが、給食の中に毛髪等の微量な異物が混入した等の事例があり、業者には点検方法の強化、マニュアルなどの見直しを指導したところであります。令和元年度で委託契約が切れることから、令和2年度以降、新たに委託する業者の公募を行った処、株式会社オーディフに決定したことを報告致します。2点目の通園・通学バスの運行について、令和元年10月からスタートし、当初は無料の体験バスに多くの中学生の利用があり、運行時間の遅れ等の問題がありましたが、現在は市民からの苦情などもなく運行しております。つきしろ区においてはスクールガードの皆さんが子供たちの安全を守るために通学の時間帯にバス停やそのバスに補助員として乗車し、子供たちの安全を守っているとの報告を受けております。大里南幼稚園の通園バスに関しては利用状況等を精査し、今後、検討したいと思

っております。

教育指導課については3点報告致します。教育環境の整備ということでICT授業環境の整備、ICT校務環境の整備、教育業務アシスタントの配置であります。教育業務アシスタントの配置におきましては、学校業務改善としてのスクールサポートスタッフを各学校1人の配置させていただいております。ICT環境の整備に関しては今年度のギガスクール構想の前の段階ということでパソコン導入を行い、令和元年度10月1日から佐敷小学校と馬天小学校にタブレットパソコンを利用して授業を進めております。ICT支援員の配置として5月21日にプロポーザルを行って業者を選定、令和元年6月より市内小中学校へ派遣し、指導・助言を行いました。プログラミング教育の推進に関しては、令和元年11月27日より、各小学校に講師を派遣して先生方向けに講習会を持ってもらいました。ICT校務環境の整備に関しては、令和元年8月7日に入札を行い、業者を決定、10月1日よりパソコン70台を導入、活用をし、先生方の業務改善を行っております。

生涯学習課については、1件報告致します。スポーツ推進審議会の設置の件で、令和元年度提案しましたが、令和元年10月の新規事業実施計画庁内検討委員会において不採択となったことから、今年度（令和2年度）も引き続き審議会の開催とスポーツ推進計画の策定を取り組みたいと考えております。

教育施設課の報告は2件であります。大里北小学校の改築事業で屋内運動場と屋外運動場の工事を行いました。屋内運動場は完成して現在は使用しております。大里中学校の校舎改築事業に関しては、令和元年6月に仮校舎を着手し、12月に完了しております。令和2年4月からプレハブ校舎で授業を開始することになっております。既設校舎及びプールの解体工事は令和元年12月に契約を締結し、解体の工事を行っております。校舎改築工事については、令和2年2月18日に仮契約を行い、同年4月27日に本契約の後、工事に着工する予定であります。

文化課は1件であります。デジタルアーカイブによる文化財の保存と活用であります。令和元年度は平成30年度に策定した「南城市文化財デジタルアーカイブ実施計画書」に基づき、現在事業が進行している状況であります。

以上が、令和元年度（前年度）の主な重要施策の事業報告であります。

議長)

ありがとうございます。私の方から2、3伺います。先ず1点目、学校給食について、地産地消の取り組みについてはどのようになっていますか。

教育長)

地産地消の取り組みについては何度か話に上がっておりますが、市内の幼稚園、小学校、

中学校の児童・生徒達に地域で採れた野菜等、確実な量や時期的なものが提供できるかどうか、計画的に地域で採れた野菜等が確保されているということが言えない状況であります。現在、旬の野菜で量が確保できるという点については農協や地域の皆さんからのご厚意によって学校給食へ提供している、ということが現在の状況です。

議 長)

わかりました。次にプログラミング教育の推進について令和元年度にスタートしたということですか。

教育長)

実際は今年度（令和2年度）が新しい指導要領のスタートとなりますが、その前の段階で先生方がわかってないとプログラミング教育が出来ないことから、前々年度（平成30年度）より計画的に研修会を行っております。

議 長)

プログラミング教育の将来的な成果はどのような形で現れるのでしょうか。

教育長)

学習指導要領の中に情報活用能力の育成というのがあり、各学校においてコンピューターや情報通信ネットを整備し、これらを活用し授業へ取り組むということですが、最終的にはプログラミングを体験しながらコンピューターに意図した処理を行わせるために論理的思考力を養う、これがプログラミング教育ということなのです。統括指導主事より補足説明をお願いします。

統括指導主事)

コンピューター使いこなす、というのも「情報活用能力の育成」のひとつなのですが、コンピューターを活用することで論理的な思考力を育む、例えばAからBに行くまでに、こうやって、こうやって、こうやればたどり着く。という筋道を建てた考え方を養うことにプログラミング教育を導入した理由のひとつであります。その成果は学習全体にわたって思考力や判断力、表現力をつけるということでもあります。

議 長)

大いに期待したいと思います。私からは気になっていた点はこの2点でした。委員の皆様から、何かあればお願いします。

委員)

私の方からは2点程、意見・要望があります。2ページのICTについて、ICTは意欲の向上や視覚に訴えることなのでとても重要です。特に今年度(令和2年度)より、プログラミング教育を進めていますが、実際に難しい点も出ています。有効活用を図るためにICT支援員の有効な活用を図るため、しっかりと計画を建てながらICT支援員に任せるだけでなく、学校、ICT支援員、教育委員会、連携を取りながら充実したICTの有効活用を図ってほしい。2点目が(3)の教育業務アシスタントの配置、これについては昨年度も要望しましたが、先程、教育長からの話にもありましたが、学校業務改善の推進ということで成果が上がっているということでした。配置に当たっては12学級以上の学校に配置になっていますが、南城市を見たとき、配置されていない学校が2校あります。百名小学校と久高小中学校です。その中でも百名小学校は何人かの違いで学級が12学級に満たされていないため、教育業務アシスタント配置になっていない。市の財源でどうにかならないのか。それを要望としてあげたい。

議長)

他にありますか。

委員)

学習支援員の問題です。これまで一括交付金を充てていますが、切れた時の財源がどうなるのかという不安が現場から聞こえています。なくなるのではなか。それに加え、各学校に1名の配置になっています。学校規模、例えば大里南小学校も1名、玉城小学校、大里北小学校も1名、このアンバランス。子供たちに均等に学力を保証するためには一括交付金に代わる財源をどうにか市で捻出し、せめて大里南小学校は2名、というのを前回申し上げましたけど、市としてどのようお考えなのか。もし、一括交付金がらみでは出来ない。このあと1年はどうにか捻出出来ないか。ということです。

議長)

これについては、恐らく同じような質問だったと思いますが、県との連携が重要になってくると思います。このことは他の市町村も同じような心配をもっているため、市長会でも議題になっています。市長会からも国へ継続してほしいと要望を出しております。県の方へも継続してほしいと話をしております。市としても国と県との連携を図っていきたい。大規模校に関しては学校単位ではなく、生徒単位を考慮すべきだとこれも考慮しながら市としては対応していきたい。

委員)

関連して宜しいでしょうか。一括交付金は令和3年度迄ですよね。どうしても継続していかないと学校は厳しいと思います。一括交付金が切れたときに、新たな国からの補助金等はないか。その手応えはないのか。

議長)

明確に無いとは聞いてはおりませんが、なくなりはあるが他のもので対応出来ないか、県は模索しております。他府県からの同じ形の要望が出ている。今はその状況です。

委員)

名称を変えて同じような補助金がでるということはありますか。

議長)

おそらく、そのようなことも検討しているかとは思いますが。

議長)

他にございませんか。よろしいでしょうか。それでは令和元年度の重点施策の報告をここで終了致します。続きまして、令和2年度の重要施策について教育委員会から説明をお願いします。

教育長)

令和2年度の重要施策について、教育総務課から1点です。南城市学校給食センターの委託業者が今年度(令和2年度)から変わるということで公募したところ、株式会社オーディフが引き受けて下さるということで決定しております。これからも5年間の長期継続契約で安全・安心な学校給食を提供していくため、ご協力していただくことと、食中毒や異物混入の事故が無いような対策を教育委員会と連携して対応して頂くようお願いして、教育委員会と株式会社オーディフで調理場の円滑な運営を行っていくつもりであります。

教育指導課としては8点であります。1点目は教科書改訂に伴う指導書等の整備事業であります。来年度(令和3年度)、中学校の教科書が代わることから新しい教科書に対応する指導書等の選定をするための事業であります。2点目は学習支援員配置事業であります。通常授業についていけない児童・生徒の学習支援等を充実していくため、通級教室や支援員の配置等、きめ細かな指導等の実態の応じた学習支援をしているところです。進捗状況として令和2年4月1日に包括委託を締結し、小学校に7人、中学校に4人の派遣をしているところです。3点目に、特別支援教育支援員配置事業ですが今現在、担任と共に当該幼児・児

童・生徒たちの学習にあたるということで、前年度からの継続での配置事業であります。進捗状況として令和2年4月1日に包括委託を締結し、5月18日現在、幼稚園7人、小学校21人、中学校4人の派遣が決まっている状況です。しかしながら、各学校のニーズに対応できていないというのが現在の状況です。4点目に沖縄子供の貧困緊急対策事業であります。こどもたちの貧困対策支援員として、スクールソーシャルワーカーを各中学校区単位で1人配置しております。スクールソーシャルワーカーが学校や家庭との連携、支援施設や子どもたちの居場所づくり等、情報共有をしながら子どもたちの居場所づくりを調整している状況であります。県事業の就学援助事業でございますが、令和2年5月1日現在、小学校675人、中学校306人、合計981人を認定し、援助している状況であります。5点目に南城市ICT支援員派遣事業であります。パソコン教室や電子黒板等のICT環境整備の配置行っており、スキル向上を目的に教員をサポートすることが重要であるため、ICT支援員を配置する事業であります。令和2年4月30日にプロポーザル審査を行い、令和2年5月12日に委託契約を締結しております。各学校にローテーションで訪問を行う予定となっております。6点目に小・中学校電子黒板等整備事業であります。年次的に普通教室や特別支援学級及び理科室へは電子黒板の配置をしており、音楽教室・技術室等の特別教室へ教育環境の充実のために配置を行うことになっております。5月8日現在、入札に向けての準備を行っております。7番目のデジタル教科書整備事業であります。小学校が今年度（令和2年度）から教科書が代わっており、市内小学校へデジタル教科書の整備を行うことにより、子供たちの学習効果を狙う意味で行う事業であります。進捗状況として令和2年4月7日に売買契約締結を終わり、4月17日に納品を終わっております。8点目が小・中学校の机椅子等整備事業であります。学校によっては老朽化した机椅子を使用しているところはまだあるため、小学校528脚、中学校463脚の入替を進めている状況であります。入札に向けての準備を進めている状況であります。

生涯学習課はスポーツ推進審議会の設置であります。これは前年度（令和元年度）の報告で審議委員会を立ち上げるということでしたが今年度も引き続き、計画策定に向けて取り組んでいる状況です。今年度はスポーツ推進審議会の最適な委員のメンバーを検討していると報告を受けております。また、スポーツ推進計画策定のため、公募型プロポーザルにて実施が予定されているところであります。

教育施設課は大里中学校校舎改築事業と佐敷中学校及び知念中学校の昇降機（エレベーター）の設置事業が予定されております。大里幼稚園園舎改築事業について、今年度（令和2年度）は園舎改築基本及び実施設計で予算を計上しております。

文化課について、デジタルアーカイブによる文化財の保存と活用について前年度からの継続事業となっております。一括交付金を活用し、劣化が進行している資料のデジタル化を実施致します。今年度はデジタルアーカイブ化並びにコンテンツの制作業務を委託する業者と

契約し、事業をすすめる計画となっております。後一点は埋蔵文化財の調査・研究であります。本市の先導的拠点開発地域内であるつきしろ地区において土地造成計画があり、文化財有無の確認調査を行っております。現在は、業者選定のための入札の準備を行っている状況であります。以上が令和2年度の教育委員会の主な施策であります。

議 長)

ありがとうございます。私の方からは3点程、確認したい点があります。

先ず1点目、沖繩子供の貧困緊急対策事業であります。学校、地域、NPOとの連携はどのようにになっているのか。

2点目はICT支援員派遣事業について、ギガスクール構想を進めていると思います。ギガスクール構想を踏まえて、教育委員会としてどのように考えているのか

3点目は英語教育について、目標値を設定しているのか。例えば、中学校であれば英検何級を何パーセント達成しているのか、小学校にもあるのか、設定している目標値について評価を行っているのかをお聞きしたい。

以上3点についてお願いします。

教育長)

先ず、沖繩子供の貧困緊急対策事業について、教育員会としては就学援助という形の経済的面でバックアップとスクールソーシャルワーカーを活用しての家庭で子供たちの困っていることを相談するという相談員の活用を行っており、子育て支援課の事業とタイアップしながら貧困対策を行っております。又、経済的な支援であれば就学援助事業が大きい事業となっております。特別支援については地域との連携について月1回、中学校区での情報交換会を行っております。残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でスタートから会議が持てなく、気を配らなければいけない児童・生徒の情報交換がまだ行われていない状況です。後日、規模を縮小して会議を持つことになっております。又、中学校区単位で主任児童員の方や市の相談員、地域で活動している方を集めて情報交換会を行い、情報共有を図っております。後、地域によっては各学期に1回の処もあります。

ギガスクール構想についてですが先日、島尻地区内の教育長会議の中でも島尻地区で統一したOSを選定し、島尻教育事務所や県に対し、足並みをそろえていきたいと会議で決定致しました。先ずは、教育委員会内のギガスクール担当を集めて、情報交換会の場を設けることを話し合っている状況です。いずれ、学校の情報担当や教育員会の情報担当を入れてOSを選定することになります。予算に関しては計上していることを聞いております。ギガスクールに関する予算化について、教育指導課長より補足説明をお願いします。



教育指導課長)

ギガスクール構想と ICT 支援員派遣事業と一緒にありますが、先生方の ICT 教育に関して、どんどんやっており、少しずつ利用頻度も上がっている状況です。今後も、ICT 支援員を派遣して、ICT 教育を推進していこうと思っております。又、ギガスクール構想については、児童・生徒 1 人に 1 台のタブレットパソコンをとということです、どうしても先生方が児童・生徒に対しパソコン教えることになっていきますので、そこでも先生方がスピードアップ図れるように支援員等を派遣し、支援していけるようにしたいと考えております。

議 長)

英語教育の目標値と評価は。

教育長)

英検の目標値について、具体的な資料が手元にございません。英語に関しては前年度に指導主事が、玉城のオキナワインターナショナルスクールと連携を図りながら子供たちの英語力の向上を図るように、市内小中学校の英語担当教諭とオキナワインターナショナルスクールで指導を行っている先生方との合同の研修会を行っております。又、子供たちの英語力に関して前年度（令和元年度）迄はワシントン州立大学や ESL キャンプ等を行って向上を図っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で少し厳しい状況なので、先ずは授業の中で教科書を用いながら英語力をアップしないといけないと感じております。更に現在、英語の主任と計画立案中ではありますが、南城市内の児童・生徒たちに南城市バージョンの英語検定を作れないかと構想中であります。詳しく説明すると市内の小学生から中学校生まで、英語の力をもっている子供たちを中心に南城市検定の英語バージョンを市内の子どもたちに作問させるということです。時間がかかるかもしれませんが、子供たちの英語力の向上ができればいいということでその計画を進めています。英検に関して、南城市は検定料の半額を補助しているので、その補助を活用して子供たちは英検に臨んでいることについてはご報告致します。

議 長)

ありがとうございます。英語に関して目標値は設定していますか。

統括指導主事)

目標値の一つとして、全国学力学習状況調査や県の到達度調査・指標があり、市の学推協では県平均を上回っているということでもあります。

議 長)

ありがとうございます。委員の皆様から令和2年度に関してのご意見があればお願いします。

委 員)

市長への要望になりますが、貧困対策に関する連携のありかたについて、教育委員会は義務教育、高校生や無職少年達は子育て支援課だと思っています。そこへの繋ぎや色々な問題があると思いますが、南城市は子どもまち宣言に向けて取り組んでいるので貧困問題を解決する、統括する「居場所コーディネーター」と私は仮に呼んでいますが、この居場所コーディネーターを置くことで、教育委員会、子育て支援課、場合によっては社会福祉課、全部をつないで子供の居場所や状況を把握し、それぞれの部署にレクチャー出来る組織があれば、どこか統括する部署があればよいと思います。NPO関係について、珊瑚舎スコアが南城市にあります。そこへの連携も模索できると思います。珊瑚舎スコアは居場所作りに関しては沖縄では優れていると思っております。

議 長)

ありがとうございます。いい意見だと思います。他にありますか。

委 員)

私の方も要望ですけど、重要施策に挙げてある各事業を充実させるにおいて予算が必要であります。予算の確保をお願いしたい。保護者や地域の関心事は子供たちの学力であります。特に今年度は教科書が替わったため、学力を身に着けさせるためには、分かりやすい授業の実践が重要であります。その中で先生方の指導力の向上が不可欠になっております。指導計画の作成にあたっては指導書が拠り所であります。指導書を揃えることをしてほしいと思います。

議 長)

ありがとうございます。他にございますか。

委 員)

私も予算に関することですが、先ほどから話があるプログラミングのことや1人1台のタブレットのことで子供たちがパソコンやタブレットを使用することが増えてきていますが、気になることとして、機械から発生するブルーライトの事です。このブルーライトで視力が

弱まること言われていますので、もし可能であればタブレットにブルーライトカットフィルムを1台ずつ貼り付けてもらいたい。もし難しければブルーライトをカットする眼鏡を個人で購入する場合に補助金等を出してもらえよう、お願いしたい。小学校1年からタブレットを長時間使うため、健康被害ではないが視力の低下が保護者としては気になることなので、ご検討してもらいたい。

議 長)

他にございませんか。大丈夫でしょうか。では、令和2年度の重点施策についての協議を終了致します。続きまして意見交換に進みたいと思います。私の方からは1点だけ報告致します。新型コロナウイルスに対する市の施策についてですが、5月25日の南城市議会臨時会、来週月曜日になりますが、新型コロナウイルス感染症に対する経費等の補正予算を計上する予定になっております。この件については議会臨時会が終わった後に公表するようにして頂ければと思います。議員の皆さんからも要望がございますので、内容が否決するとはまずないと思いますが、公表に関しては一つご理解をしてもらいたいと思います。教育委員会に係るものとして、南城市子育て世帯臨時特別給付金、そして市内の0歳～15歳迄の子供1人当たり、1万円を給付する予定であります。5月21日から学校が開校致します。幼稚園、小学校、中学校の開校時の感染予防対策事業として、中学校区毎に消毒用の次亜塩素酸水生成器の設置をするという提案を致します。児童生徒の体調管理のための非接触型の体温計19台、各小中学校1台ずつ、配布する計画をしております。その予算も25日の議会臨時会に提案する予定であります。更に就学援助の世帯に対する支援事業として、就学援助世帯保護者の負担を軽減するため、休校期間中の給食費相当額を給付する計画があります。新型コロナウイルスに関連する給付関係は以上でございます。今回は新型コロナウイルス感染症についての件でしたが、他にも不測の事態が起こるかもしれません。その備え等、新型コロナウイルス感染症以外のことも宜しいので、ご意見があれば伺いたいと思います。今回の件で気づいた件でも宜しいです。

委 員)

市長から色々な給付金等の話がありましたが今回、新型コロナウイルス感染症で学校の休校期間が長かったため、保護者から聞こえるのが給食の有難さであります。毎回食事を作るのも大変だが、食費もかかり大変ということで、やはり給食があった方がとても助かるということでした。この前ニュースで見たのですが、中城村では給食センターで弁当を作り、それぞれの公民館で配布したという話がありました。新型コロナウイルス感染症も第2波、第3と予想され、再度の休校もあり得るので、南城市でも同じような取り組みができないのかなと思います。給食センターだけではなく、各公民館や地域の方々、民生委員の皆さん等と連

携が必要となるので、市長部局で検討してもらいたい。密にならないような取り組みの仕方を今後検討してもらいたい。

議 長)

貴重なご意見ありがとうございます。いろんなことを想定して準備をしていきたいと考えております。他にございますか。

委 員)

市長さんから新型コロナウイルス感染症対策について色々ありました。例えば薬品や消毒液の配布等です。学校で感染症対策するうえで一番大事なのは3密を避けることです。子供たちなので一人でも感染者が出たらすぐにクラスター化する危険があります。3密を避ける取り組み、市長の説明があったように消毒液を配布するとか色々あるとは思いますが、教室の中で授業をするため換気が必要になる、換気をするとしても窓を開けるだけでは、わずか10分間のため換気が難しくなる。うまく換気をよくするように、扇風機の活用もあると思います。更に言うと空気洗浄機とか、予算がかかりはします。それからマスクも配布はするが子供によっては忘れていたりする場合がある、学校も準備はするがはたして全てに対応できるかということもあります。それ以外に想定しないものも出てくる。やはり、休み時間（休憩時間）の過ごし方だと思います。先生達が全部の子供たちを追いかけるのか、それは出来ないと思います。人的な配置も出来るのかなということがあります。先程教育長より説明があった授業の遅れもありますが、子供たちが登校したとき心のケア、ストレスを抱えた子供がいないのかどうか、きめ細かい先生達のチェック体制が大事だと思います。これを委員会、行政と一緒にバックアップしていけるのが大事な部分だとも思います。

議 長)

ありがとうございます。子供達の心のケアに関しては我々も重要視しております。この間も教育長や私も入ってどうすれば心のケアしていけるのかという、話し合いをしております。今後、始まってから見えてくるのもあるで、備えていきたいと思っています。

委 員)

やはり子供たちが幼ければ幼いほど、チェックや確認をしないといけない。接触するなどは頭では分かっているが、みんなと遊びたいですし、やはり一緒になってしまうとか。

教育長)

議長、別件ですが先程委員からもあったお弁当の件で教育委員会でも考えてみました。課

題になっているのが配布の件で、公民館使用の案が出ましたが、残念ながら南城市の各字の公民館は常勤の方ではなく、非常勤の方が多いということです。又、4月と5月の状況で密になる場合を作ることもあり、無理かなと思いました。新型コロナウイルス感染症の影響で4月と5月には区長会が持てなかったため、もし区長さん達と連携出来れば、弁当を届けた日に給食センターを活用して弁当を作り、配送車を使ってそれぞれの公民館へ持って行き、その公民館の区長さんや民生委員さんを活用しながら、配布作業を行う。その流れができればいいかなと思っています。その旨、区長の皆さんへ不測の事態になった時のご協力を区長会で共通理解を図るということをお願いしたい。弁当配布の件について、一度は教育委員会も考えたが、配布の部分で課題になっていた。区長会や地域の皆さんと連携を図れるようにお願いをしたい。

議 長)

仕組みづくりだと思います。そこをしっかりとわかるようにしないといけない。他にございますか。

委 員)

同じような意見になりますが、どんな事が起こるか全く予測がつかない。先程の食という部分については大事な視点で、私は児童館のあり方を模索している。公民館が無理なら、児童館は職員がいるからそこをうまく活用してもいいのかなと思います。

別の話になるが、不応者が増えていく可能性が多いと思います。学校だけでは対応できない、居場所の問題が関係しています。市の適応教室が移り、更に児童館が居場所として活用していかないと対応できなくなるので、いろいろと検討してもらいたい。自分は学習ボランティアの方々を活用したいと考えているが、新型コロナウイルス感染症のことを考えるとやはり、先輩方や退職した先生方にそこへ行けとは言いがたい。しがらみはあるが、子供たちのためにできたらいいなと考えてはいる。

委 員)

対策の中でも子供たちに一人一人に新型コロナウイルス感染症をしっかりと自覚させる、意識させるというのが大事であります。自分の命は自分で守るという意識を持たせるということです。これは、先だって沖縄タイムスの4月11日の新聞記事、「死」というのを「新型コロナウイルス感染症」に置き換えるだけ。こういったものを小学生がわかるように、市でリーフレット等が作成できないものか。各家庭に配布して意識化してもいいのでは。危機管理についてやりすぎはない。子供たちに何度も目がおせるように、どこかに貼り付ける。そのように意識化を図ることも対策の一つだと思います。

議 長)

ありがとうございました。皆さん方から何か他に意見交換があればお願いします。

委 員)

新型コロナウイルス感染症は初めての経験、前例のないことが起こっています。計画的ではなく、現実の問題が起こったことに対してその問題を把握し、どう対処していくのか、迅速に行えるのか、臨機応変が求められています。その辺は市長にも陣頭指揮を行ってほしい。以上です。

議 長)

私の方から最後に。教育ビジョンの策定に向けて動いてはいるとは思いますが、状況はどうなっていますか。

教育長)

教育ビジョン検討委員会を設置、その後スケジュール案を作成し進行しており、現在は各課のヒアリングをしている状況です。これからの長期的計画を基に、教育ビジョンを作成するという事になっております。それから検討委員会を4月に開催する運びで準備していましたが、それができなくなり、5月26日に開催する予定です。内容としてスケジュール案の確認、国・県・他市町村の策定についての協議をして、南城市バージョンの検討を行うことと、各課の年次計画、ビジョン作成にあたっての年次計画の洗い出しを行う予定です。今年度策定計画している校区再編計画とスポーツ推進計画を含めて調整をするということになっております。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために2か月程、進行が遅れているというのが現状です。

議 長)

ありがとうございます。他に意見交換がなければ議題3をおわらせて頂きます。議題4の日程調整についてお願いします。

司 会)

今後のスケジュールについて、昨年度第2回が11月21日、平成29年度が12月25日、平成28年度が11月8日に開催されていることから、事務局としては11月中旬か下旬に開催を予定しております。

議 長)

1 1月中旬か下旬を予定しているということですが、日程が決まればご連絡します。以上  
持ちまして、令和2年度第1回南城市教育会議のすべての日程を終了致します。